

AMANEが考える地域アーカイブのこれから

合同会社AMANE 堀井 洋



自己紹介

氏名： 堀井 洋（ほりい ひろし）

2002年6月 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
博士後期課程修了 博士(情報科学)

2002年 6月～2003年9月 文部科学省ITプログラム研究員

2003年10月～2011年9月 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 助教

2009年4月 合同会社AMANE 設立 同代表社員に就任

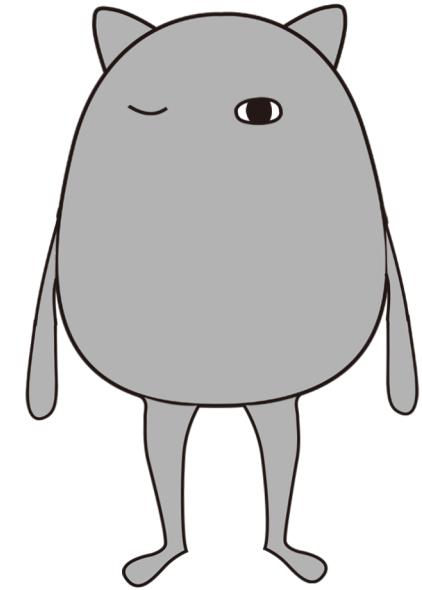
2014年10月 一般社団法人学術資源リポジトリ協議会 設立

専門分野： 情報システム学・人文情報学

所属学会： 情報処理学会 情報知識学会 アートドキュメンテーション学会 他

合同会社AMANE

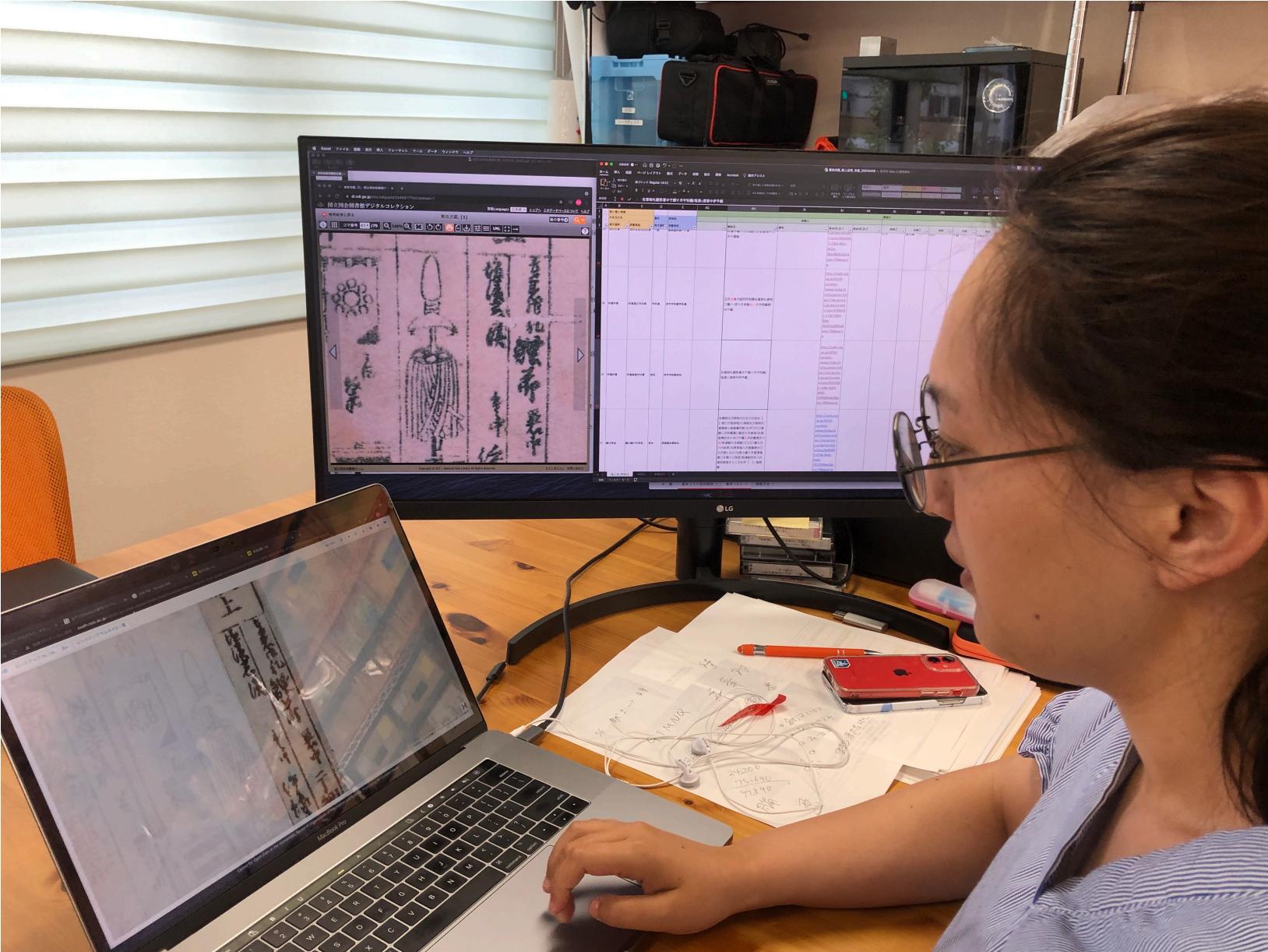
- ・名称: 合同会社AMANE(ごうどうかいしゃ あまね)
- ・構成員: 7名 客員研究員: 2名
- ・所在地: 石川県金沢市 (金沢ラボ)
宮城県仙台市 (仙台ラボ)
東京都文京区本郷 (東京ラボ)
- ・設立年月日: 2009年 4月 10日
- ・研究機関指定: 科学研究費補助金取扱規定第2条第8項に規定する研究機関





2023/11/11





2023/11/11

AMANE.LLC 第8回DA学会 企画セッション(地域DA)

AMANEの取り組みのご紹介

I. 地域と連携した地域デジタルアーカイブの構築

→ 山形アーカイブ

2. 将来へ繋ぐことを目指した“強靭”なデジタルアーカイブ

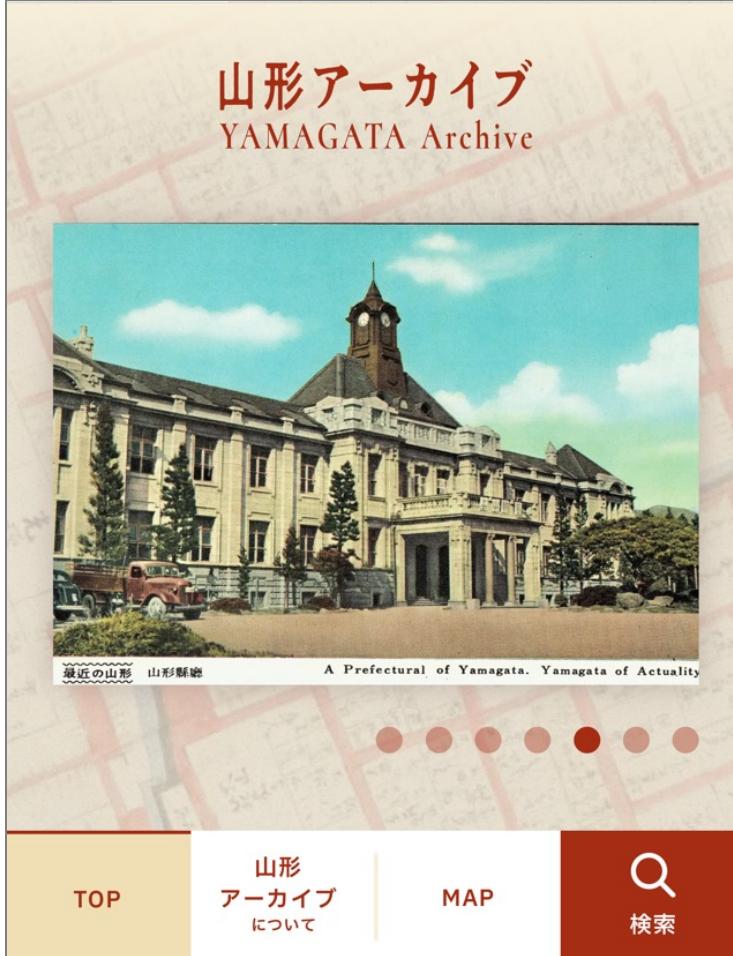
→ AMANE Archives

→ 地域資料データの継承とオープン化を目指した
地域横断型データ共有基盤の構築

デジタルアーカイブの構築・活用に関する 包括連携協定

- ・国立大学法人山形大学附属博物館と合同会社AMANEは、2022年9月18日に、デジタルアーカイブの構築・活用に関する包括的連携・協力に関する協定を締結。
- ・山形地域全体を巻き込んだ継続的な地域デジタルアーカイブの実現を目指している。
- ・構築・運用・研究を産学連携に基づいて実施している。

山形アーカイブ



公開機関: 山形大学附属博物館

URL: <https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/>

システム構成:

AlmaLinux8+WordPress6+IIPImgサーバーを
VPSサーバー(さくらサーバー)上に構築

2023年4月時点で、山形大学附属博物館が所蔵・収集した地図 15 点・絵葉書 627 点・絵画 56 点・写真 119 点のほか、山形市郷土館が所蔵する地図・写真等 215 点、最上義光歴史館が所蔵する刀剣等 20 点の画像を掲載している。

- システムの構築・運用を山形大学・AMANE・地元企業が連携して実施。
- オープンソースソフトウェアの活用
- 現在、複数地域が連携した資料データの分散保存を検討中

(絵葉書) (山形) 七日町通り (其一) Yamagata HanokamachitOri (山形屋発行)

HOME / 掲載資料一覧 / 絵葉書 / (絵葉書) (山形) 七…



史料番号

001-003-00448

作成日

1911年00月00日

作成者

山形屋

所蔵機関

山形大学附属博物館

所蔵機関URL

<http://museum.yamagata-u.ac.jp/>

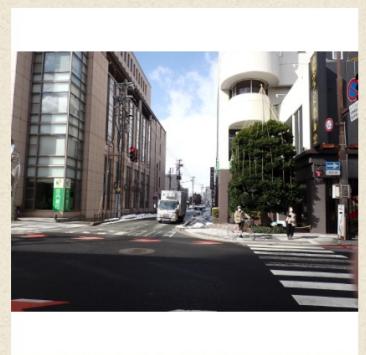
座標

38.25578854926701, 140.34067470648688

備考

七日町通りを撮影。左前方に山形瓦期株式会社が写る。1911年～1926年のものと推定。

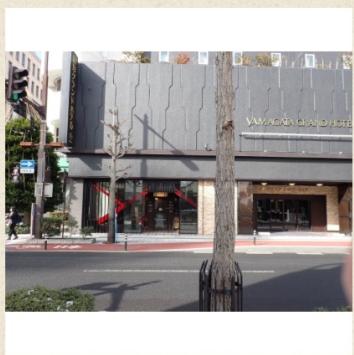
高精細画像はこちら □



(七日町写真) 2022年1月30日
撮影

山形大学附属博物館 2020年代

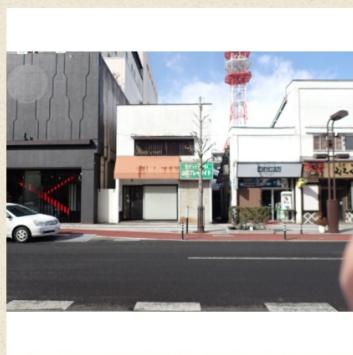
史料番号: 000-001-00001



(七日町写真) 2022年1月30日
撮影

山形大学附属博物館 2020年代

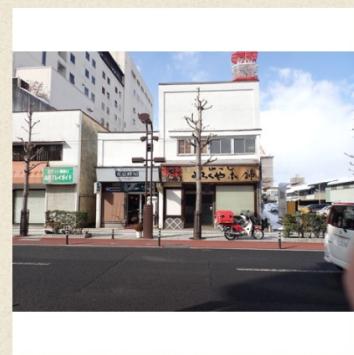
史料番号: 000-001-00002



(七日町写真) 2022年1月30日
撮影

山形大学附属博物館 2020年代

史料番号: 000-001-00003



(七日町写真) 2022年1月30日
撮影

山形大学附属博物館 2020年代

写真

山形アーカイブ YAMAGATA Archive

Q キーワードを入力してください

詳細検索

(七日町写真) 2022年2月25日撮影

[HOME](#) / [掲載資料一覧](#) / [写真](#) / [\(七日町写真\) 2022年2月25日撮影](#)



(七日町写真) 2022年1月30日
撮影

山形大学附属博物館 2020年代



(七日町写真) 2022年1月30日
撮影

山形大学附属博物館 2020年代



(七日町写真) 2022年1月30日
撮影

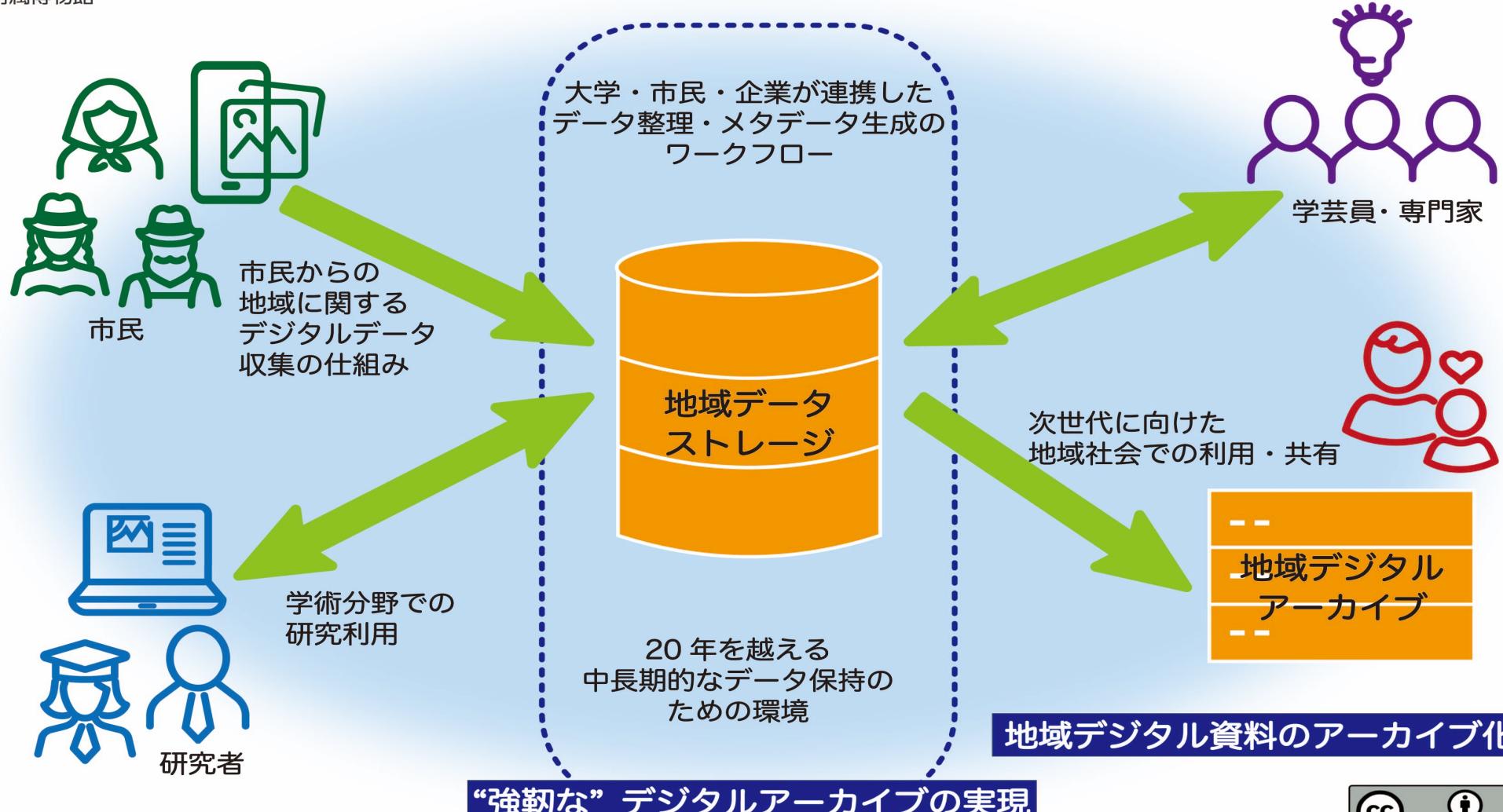
山形大学附属博物館 2020年代



史料番号	000-001-00129
作成日	2022年02月25日
作成者	まちの記憶を残し隊
所蔵機関	山形大学附属博物館
所蔵機関URL	http://museum.yamagata-u.ac.jp/
座標	38.25309181830122, 140.33948144731397
備考	七日町ルルタス周辺

高精細画像はこちら

地域デジタルアーカイブプロジェクト概要



地域デジタルアーカイブの役割

1. 地域内に存在する学術資料・情報の収集・保存・公開・利活用
→ 公開手段を有しない学術機関所蔵資料を含む
2. スマホ画像などBorn-Digitalな地域資料
(Born-Digital Regional Memory:BDRM)の収集・保存・公開・利活用
3. 外部のポータルサイト・他機関DAとの連携・地域外への公開



地域の中核的な学術情報インフラストラクチャーとしての機能と位置づけ

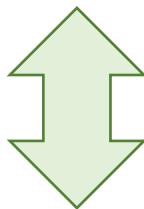


中長期的な情報継承・公開の継続性・持続性が非常に重要

強靭

(読み) キョウジン

[名・形動]しなやかで強いこと。柔軟でねばり強いこと。また、そのまま。「強靭な肉体」「強靭な意志」



出典 小学館デジタル大辞泉

“強靭な”学術資料デジタルアーカイブ

様々な変化や障害を乗り越えて、学術資料情報の公開を維持しつづける
デジタルアーカイブ

サービス継続とデータ継承

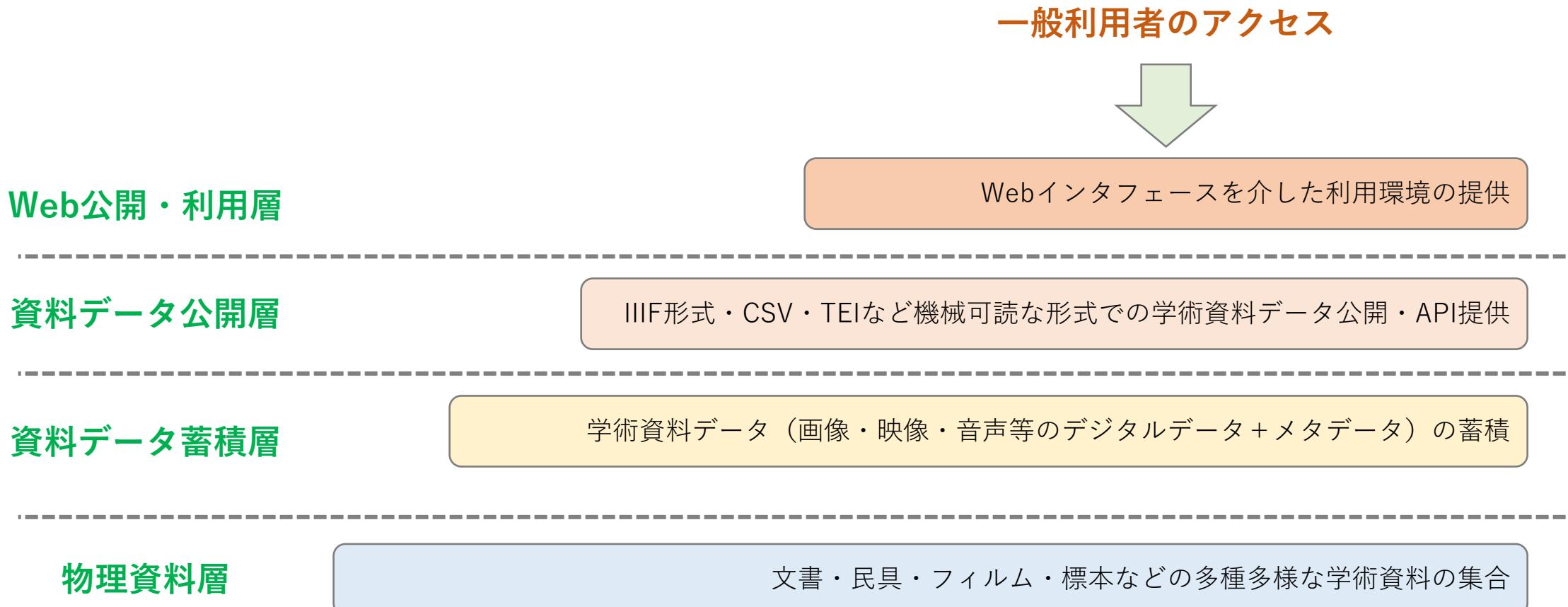
I. 情報公開サービスの継続における強靭さ

- ・予算・人材・技術など、構築当初から**無理のない**運用体制の構築（“細く永く”）
- ・公開組織の変更などを想定したデータおよびサービスの移動・移管可能性の確保

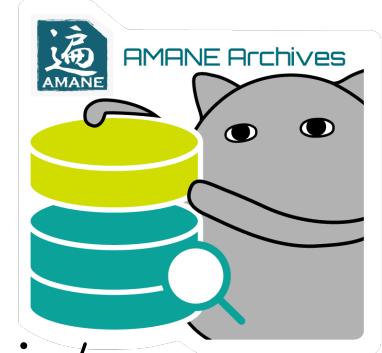
II. 資料データの保存・継承における強靱さ

- ・大規模災害の発生にも影響を受けない複数拠点での分散データ保存
- ・複数の世代にわたるデータバックアップ

学術資料デジタルアーカイブの階層化



AMANE Archives



The screenshot shows a digital archive interface for a historical document titled "庄屋一件并上納金に付書状 (前・後次)". The main view displays a scanned page with Japanese calligraphy. On the left, there's a sidebar with thumbnails for "page 1", "page 2", and "page 3". Below the main image are various sharing and export icons. At the bottom, there's a caption: "庄屋一件并上納金に付書状 (前・後次)".

タイトル	庄屋一件并上納金に付書状 (前・後次)
内容記述／Description	[年(年号)]-[年(西暦)]-[月]-[日]-[差出入人]-[宛所(敬称なし)]-[奥書・端葉書]-[形態]-切紙【裏付】-[数量]:1-[備考]-[所蔵者・収蔵場所]:輪島市・輪島市役所前船合支所
公開者／Publisher	合同会社AMANE
寄与者／Contributor	輪島市・文化庁地域文化財総合活用推進事業(地域文化遺産)
資源識別子／Identifier	KD-22-A202-183
作成日／Date Created	平成31年(2019年)3月
別の記録形式を持つ／Has Format	https://ourarchives.amane-project.jp/iiif/manifest/kadomi2/KD-22-A202-183.json
ライセンス	https://ourarchives.amane-project.jp/rules
アイテムセット 北前船アーカイブ	
角海家文書(第2期)	
作成日／Date Created	May 17, 2023
更新日／Date Modified	May 17, 2023

公開機関: 合同会社AMANE

URL:<https://ourarchives.amane-project.jp/>

システム構成:

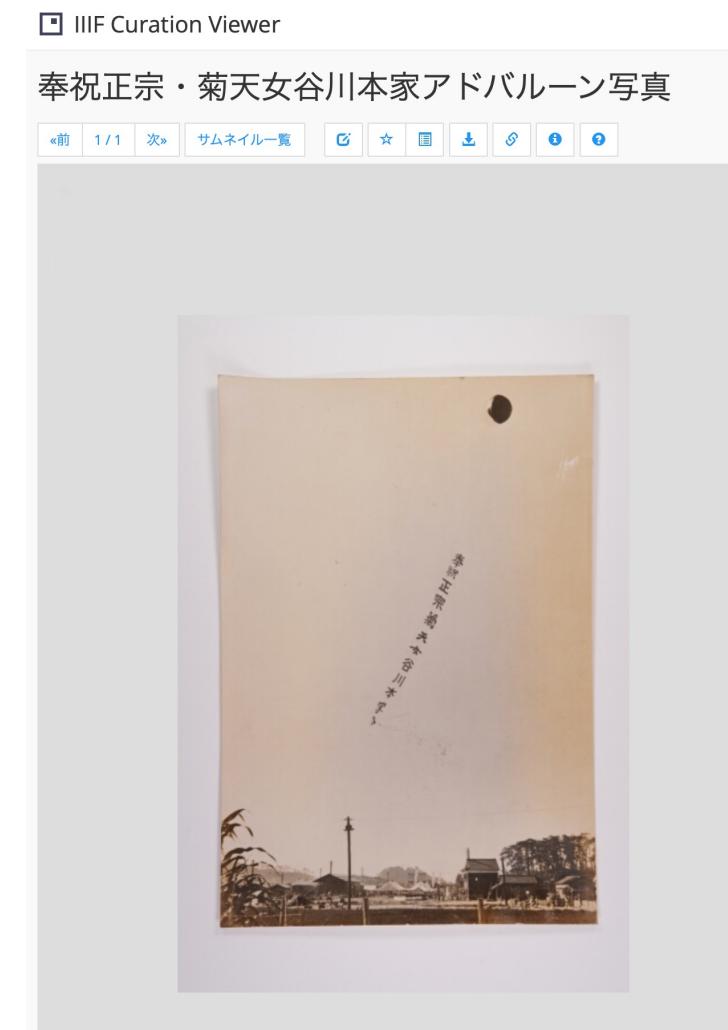
AlmaLinux8+Omeka-S Ver.4.0+IIPIImgサーバーを
ローカルマシンの仮想サーバー(KVM)上に構築

- AMANEが調査に関わった学術資料情報を“逐次公開”的考え方に基づき公開
- オープンソースソフトウェアの活用およびシステムの仮想化
- 資料データの分散保存(金沢・仙台・東京)
- 利用規約においてサービスの365日24時間安定提供義務の放棄を明記

AMANE Archives: 現在公開中の資料

- 奥能登酒造文化アーカイブ

- 2022年度に実施された文化庁「「能登杜氏」により継承された奥能登の酒造産業・技術・文化に関する 学術調査研究・発信事業」における調査研究事業と保護継承事業の成果
- 谷川醸造資料: 谷川家は、輪島市鳳至町で明治 38(1905)年に酒造りを始めたと伝えられている。令和4年(2022)の調査で、明治 33 年(1900)から昭和 55 年(1980)頃の酒造関係資料があることが確認できた。これらの資料のうち、看板やホスター、写真・アルハム、酒器類 83 点を撮影・リスト化し、公開した。



輪島市大水害絵葉書 第2輯

«前 7 / 14 次» サムネイル一覧



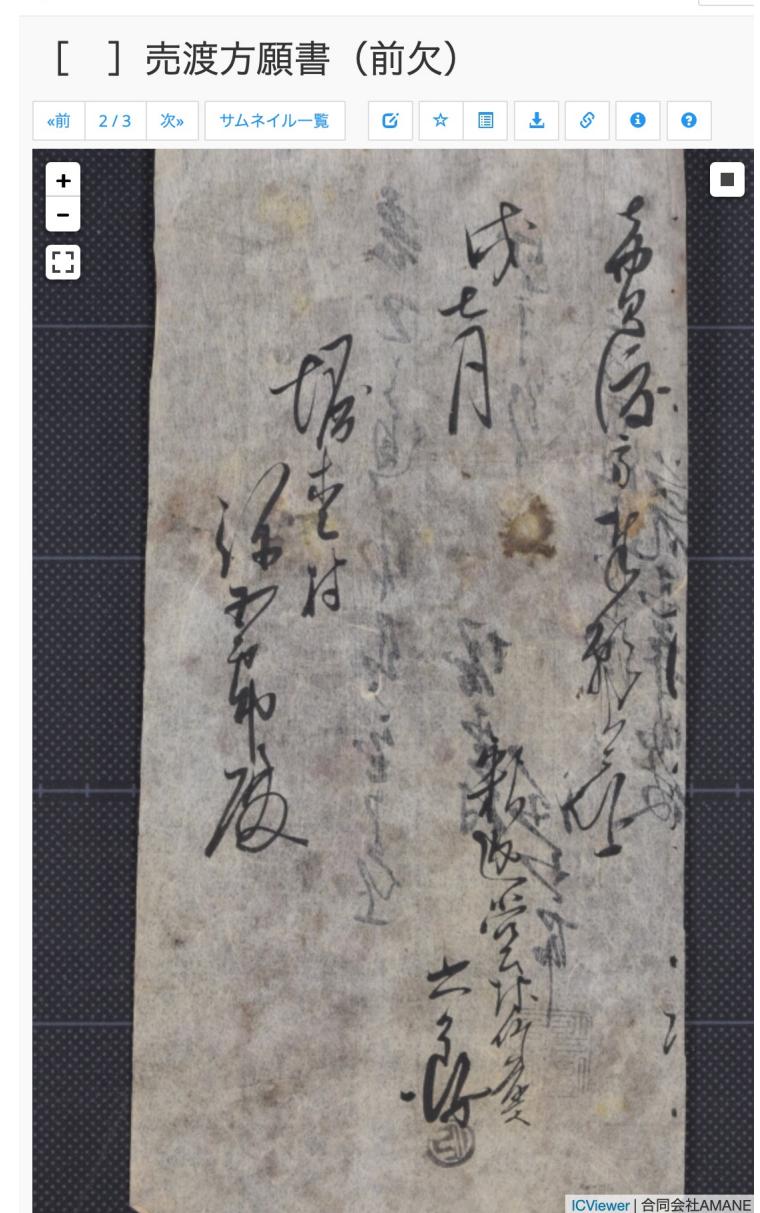
二 大水害の輪島市 二

激流を真正面にうける市役所

S × UKILAM(スキラム)連携：石川県と災害に関するデジタル資料を活用した教材化ワークショップ（11月5日）においても利用

・北前船アーカイブ

- ・角海家文書(第2期)：角海家は、石川県輪島市門前町黒島町に所在する北前船主として活躍した家である。平成19年(2007)の能登半島地震をへて、土地・建物および文書・什器等が輪島市に寄贈された。
- ・角海家文書の総点数は22,152点で、本アーカイブの「角海家文書(第2期)」では、令和3年(2021)刊行の『輪島市門前町黒島町角海家文書調査報告書(第二期)』に収録された11,951点のうち5,815点を公開する。



地域横断型データ共有基盤の構築

- ・「AI 等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」にかかるユースケース創出課題の一環
- ・参加機関： 山形大学・金沢大学・新潟大学・北海道大学・東京大学
合同会社AMANE
- ・連携地域： 奥会津地域 ・ 山形市域 ・ 他
- ・実施期間：2カ年
- ・実施内容：
 1. 複数地域の連携・横断による「分散型地域資料データストレージ」の構築
 2. 地域資料データの積極的利活用にむけた仕組みの検討

Data Centric Science 等の
新たな学術研究活動の推進

既存の研究データ基盤・デジタル
アーカイブとの接続・連携

教育・地域文化活動などに
地域社会における利活用・還元

本提案：「地域資料データの継承とオープン化を目指した地域横断型データ共有基盤の構築」

2. 地域資料データの積極的利活用にむけた仕組みの検討

IIIF形式による画像データ・機械可読性を
有した資料メタデータの公開

専門家による
学術データキュレーション

API・SRUなど
検索環境の整備

権利処理などオープン化のための
ガイドラインの作成と適用

“地域資料データカタログ”的
生成・公開

学認IdP・OpenIdPなど認証機構を
想定した利用環境の整備

地域資料データの継承と利活用を一体として実現・推進

1. 複数地域の連携・横断による「分散型地域資料データストレージ」の構築および検証



地域デジタルアーカイブの実現のために

I. 資料情報の蓄積・保存・共有のための基盤（技術だけではない）の整備

- 大量のデータを安定的に蓄積・共有しつづけるための地域データストレージの構築
- 収集・保存のための共通ルール・プロトコルの策定・法的な位置づけの検討
- 地域間での連携と、“ゆるやかな”コミュニティによる運用体制の構築

2. 社会における地域DAの認知・理解の醸成

- 学術・教育・観光・デザインなどの各分野におけるDAの機能モデルの実装
- アーカイブ構築・運用における各プロセスの明確化と職業的地位の確立
- 「個人の記憶」に関する地域DAの役割り・貢献の再認知

